

# ATM ReportPack バージョン 3.0

リリースノート



## ATM ReportPack リリースノート

**ご注意**

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 当社は、本書に関して特定目的の市場性と適合性に対する保証を含む一切の保証をいたしかねます。
3. 当社は、本書の記載事項の誤り、またはマテリアルの提供、性能、使用により発生した直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害または結果損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本製品パッケージとして提供した本書、CD-ROM などの媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

**Restricted Rights Legend.**

All rights are reserved.No part of this material may copied, reproduced, or translated to another language without the prior written consent of Hewlett-Packard Company.The information contained in this material is subject to change without notice.

Use, duplication or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 for DOD agencies, and subparagraphs (c)(1) and (c)(2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights clause at FAR 52.227-19 for other agencies.

HEWLETT-PACKARD COMPANY  
United States of America

**Copyright Notices.**

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Company, all rights reserved.

Reproduction, adaptation, or translation of this material without prior written permission is prohibited, except as allowed under the copyright laws of the United States.

**商標**

Microsoft®、Windows®、MS Windows®、および Windows NT®は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。その他の製品名は、それぞれの商標またはサービスマーク所有者の財産であり、これによって承認されています。

**目次**

<b>範囲</b> .....	<b>4</b>
関連ドキュメント.....	4
<b>パッケージの概要</b> .....	<b>5</b>
使用上の注意 .....	6
パッケージの履歴 .....	6
サポート対象の DataPipe.....	6
<b>このリリースでの機能強化</b> .....	<b>7</b>
機能強化.....	7
バグ修正 .....	7
<b>既知の問題</b> .....	<b>8</b>
<b>インストールと設定</b> .....	<b>9</b>
依存関係.....	9
パッケージの解凍と展開.....	9
デモパッケージ.....	9
バージョン 3.0 へのアップグレード.....	9
<b>テクニカルサポート</b> .....	<b>11</b>

## 範囲

このリリースノートでは、最新の機能強化、バグ修正、および既知の問題について説明しています。このリリースノートでは、以下のユーザーガイドで取り上げているトピック(具体的には、分散アーキテクチャにおいて ATM ReportPack を配布する際に必要となるインストール、準備、および変更)については説明していません。

## 関連ドキュメント

- 1) 『ATM ReportPack ユーザーガイド』
- 2) 『Ascend ATM DataPipe Release Statement』
- 3) 『Cisco Router ATM DataPipe Release Statement』
- 4) 『Marconi/Fore ATM DataPipe Release Statement』
- 5) 『Newbridge Preprocessor ユーザーガイド』
- 6) 『Stratacom Preprocessor and Stratacom Datapipes ユーザーガイド』

## パッケージの概要

ATM ReportPack は、1 つまたは複数の ATM ベンダー製のスイッチや CPE デバイスが含まれているネットワークを管理する際に有益な情報を提供します。ベンダー固有の DataPipe は、データを収集するための手段を提供します。収集されたデータが OVPI によって処理されると、この ReportPack 内のレポートに各種のテーブルやグラフが表示され、過去のパフォーマンスや将来のパフォーマンスの推定予測が示されます。過去のレポートの時間範囲は、月単位、日単位、時間単位、および準リアルタイムを選択できます。予測の時間範囲は、当日から 30 日間、60 日間、および 90 日間を選択できます。

レポートの概要について、以下簡単に説明します。

**予測** – 今後 30 日以内に生じると予想されるホットスポットが示されます。項目は予想される増加率ごとに順位付けされます。ドリルダウングラフには、30、60、90 日間の出力使用率が表示され、ベースライン期間の実際のパフォーマンスと比較されます。

**キャパシティプランニング** – 30 日後に使用率が超過または不足すると予測される要素が示されます。ドリルダウングラフは、今後 60 日間と今後 90 日間の予測が示されるように拡大され、ベースライン期間のパフォーマンスと容易に比較できます。

**エグゼクティブサマリー** – カスタマ単位または地域単位のパフォーマンスのサマリー(要約)に基づく、ネットワークのビューです。上級管理職向けに設計されているこれらのレポートには、1 人のカスタマに所属する、または 1 つの地域内にある、すべての PVC 端点、SVC、またはポートのパフォーマンスが集計されます。選択テーブル内のエンTRIES をドリルダウンすることにより、入力トラフィック、出力トラフィック、エラー、廃棄、および QoS を詳細に確認できます。時間範囲は、過去 24 時間、過去 90 日間、および過去 12 か月間を選択できます。

**準リアルタイム(NRT)** – 過去 6 時間のデータに基づくパフォーマンスのビューです。これらのレポートは、現在高い入力使用率または高い出力使用率の状態にある要素について警告します。ドリルダウングラフでは、過去 6 時間における使用率の増減のトレースが示されます。

**ホットスポット** – 前日中にパフォーマンスのしきい値を超えた要素を一覧表示します。ホットスポットを正確に特定するのに便利なこのレポートには、例外と QoS を関連付ける、サービスのグレード(GOS)を示すグラフが含まれています。

**PVC 端点およびポートのクイックビュー** – PVC 端点またはポートの詳細を示します。事実だけが必要な場合に便利です。日平均の使用率が最も高い 10 個の要素を示します。ドリルダウングラフには、使用率と GOS のスコアが示されます。

**SVC クイックビュー** – SVC ポートの詳細を示します。事実だけが必要な場合に便利です。呼び出しの試行数が最も高い 10 個の要素を示します。ドリルダウングラフには、呼び出しの試行数、1 秒あたりの呼び出し回数、および成功率が示されます。

**スナップショット** – ポートまたは PVC 端点を選択して、クイックビュー内で参照できるものと同じデータを表示することができます。

PVC 端点とポートのトップテン – 最も使用率の高い上位 10 個の PVC 端点またはポートを表示する単純なレポートです。ポートのレポートには、そのポートの各 PVC 端点の使用率を示すドリルダウングラフが表示されます。

SVC のトップテン – 呼び出し試行と 1 秒あたりの呼び出し回数に基づく、上位 10 個の SVC ポートを表示する単純なレポートです。

可用性 – これらのレポートでは、サービスレベルアグリーメントへの遵守を検証できます。ポートと PVC 端点の時間単位、日単位、月単位の可用性が表とグラフで示されます。

## 使用上の注意

分散アーキテクチャにおいて ATM ReportPack を配布する際に必要となる、プロパティの準備の必要条件と、中央サーバー/サテライトサーバーの変更については、『ATM ReportPack ユーザーガイド』を参照してください。

## パッケージの履歴

バージョン	変更の概要
2.0	TREND 4.5 用の初回リリース。
2.1	レポートのバグを修正し、新しい HP ロゴをレポートに追加したリリース。
3.0	CPT と IR のサポート、オブジェクトマネージャの機能、および Oracle のサポートを追加したリリース。

## サポート対象の DataPipe

ATM ReportPack は次の DataPipe でサポートされています。

- Ascend ATM DataPipe 3.0
- Cisco Router ATM DataPipe 3.0
- Marconi/Fore ATM DataPipe 3.0
- Newbridge ATM DataPipe 3.0
- Stratacom ATM DataPipe 3.0
- ATMifEntry DataPipe 1.0

**このリリースでの機能強化****機能強化**

- レポートの更新

**バグ修正**

バージョン番号	バグ番号	説明
2.0	N/A	N/A
2.1	JAGae62 673	インタフェースの速度値が大きいと SQL の変換エラーが生じる場合がある。

## 既知の問題

このリリースでは既知の問題はありません。



## インストールと設定

『ATM ReportPack ユーザーガイド』では、インストール、設定、および準備の手順について説明しています。

### 依存関係

このパッケージには次の 2 つの必要条件があります。

- OVPI 5.0
- 少なくとも 1 つのベンダー固有 DataPipe

ATM ReportPack をインストールするときに 1 つ以上のベンダー固有 DataPipe を同時にインストールすることもできます。同時にインストールする場合は、インストールする各パッケージの圧縮配布ファイルを \$DPIPE\_HOME/packages ディレクトリに展開した後に、パッケージマネージャを実行する必要があります。

### パッケージの解凍と展開

ATM ReportPack をダウンロードした後、または他の手段で圧縮配布ファイルを取得した後に、ファイルを OVPI 配下の {DPIPE\_HOME}/packages ディレクトリに展開します。

圧縮ファイルを展開する前に、{DPIPE\_HOME}/packages ディレクトリに存在する可能性のある、以前にインストールしたすべての ReportPack を必ず削除または名前変更してください。

OVPI ディレクトリを再配置していない限り、展開を実行する際に、デフォルトのディレクトリパス名を保存するオプションを必ず選択してください。

### デモパッケージ

OVPI パッケージにはいくつかのインストール可能なオプションが含まれている場合があります。これらはそれぞれ、親の ReportPack ディレクトリ配下の別の「.ap」ディレクトリに格納されています。以下はディレクトリの例です。

- *ATM.ap* – 運用版の ReportPack
- *ATM\_Demo.ap* – デモ版の ReportPack

パッケージのインストール中、運用パッケージに加えデモパッケージをインストールするオプションを選択できます。デモパッケージ内のレポートは対話形式で、テーブルはグラフにホットリンクされているため、個々のテーブルやグラフのさまざまな表示方法を試すことができます。デモレポートのデータは静的なものであり、時間が経過しても変更はされません。

### バージョン 3.0 へのアップグレード

ATM 2.1 を実行している場合は、*UPGRADE\_ATM\_2.1\_to\_3.0* パッケージをインストールして ATM 3.0 にアップグレードすることができます。次の規則を覚えておいてください。

- ATM 3.0 は OVPI 5.0 でのみサポートされています。したがって、OVPI をあらかじめ 4.6 から 5.0 にアップグレードしておかないと ATM 3.0 にアップグレードすることができません。
- アップグレードパッケージのインストール中、[OVPI レポートの配布]オプションを有効のままにするか、または無効にするかを選択します。ATM 3.0 内のレポートとフォームは、デフォルトを受け入れない限り配布されません。このため、必ずデフォルトを受け入れてください。
- 分散システムの場合は、ATM 2.1 を実行しているすべての OVPI サーバーに、アップグレードパッケージをインストールしてください。

## テクニカルサポート

次のHP OpenViewのWebサイトを参照してください。

<http://openview.hp.com/> (英語)

<http://www.hp.com/jp/openview/> (日本語)

このサイトには、HP の提供する製品、サービス、サポートについてのお問い合わせ先や詳細が掲載されています。[サポート]をクリックすると HP OpenView のサポートページに移動します。このページから次の情報を参照できます。

\_\_ ダウンロード可能なマニュアル

\_\_ トラブルシューティング

\_\_ ソフトウェアパッチ

\_\_ 問題報告

\_\_ トレーニング

\_\_ サポートニュース